

心配される

停年退職のCO患者

十一分会 万田生

最近、CO患者の病状が悪化したところ、それぞれ次のような返事がきました。

私達は、これまで苦勞を共にした同志の停年送別会を、二月二十四日、雪の降る玉名保養所で、さややかながら、慰勞をこめて行いました。

年々老化して行く三池労組で万田作業所としても、今年じゅう七名(三名は停年延長)もの停年者を迎えるので、おくれはせながら、いっしょに送別会を行いました。

すでに停年になった十数名の諸先輩にも参加を呼びかけ、今後のCO闘争を推進するためにも、現役・停年退職者ともに闘わなければならないなら、この意志統一も含めて行うことにしたのでしたが、不参加者が約半数の六名にものぼりました。

不参加者は、ほかでもなく病床にあいでいるということがわかりました。

私達は、その後停年退職のCO患者なかまの健康状態を知るために、各人あてに往復書を出しました。

労災・職業病多発

福岡県 福岡県労災・職業病連絡会 公書を絶滅しよう、と呼びかけ被災者・家族連絡会は、機関紙第二号を発行した。

このほど、福岡県労災・職業病連絡会が、被災者・家族への完全補償、労災法の抜本改正、労災連絡会の強化拡大、そして「労災・職業病

下は、福岡労災連絡会が発行した新聞。第二面に、上村裁判勝利のことも、伝えている。

福岡県労災連絡会 1975年3月25日

福岡県労災連絡会

労災法の抜本改正 労災連絡会の強化拡大

春斗のなかで、共通要求をもとにあらゆる人々の共闘の闘いを

患者団体交流会ひらく

春斗上京団に加わり 労働省などと交渉

3・30インフレ不況に苦しむ 県民怒りの果てに参入しよう

労災法一部改正さる 附帯決議の実現へ抜本改正へ!

裁判準備はすすんでいきます

大場さんから便り

大場みき子さんへ、お手紙と機関紙、みき子、どうもありがとうございます。この前、みき子に書いてあったようなことを聞かれ、賠償金の請求額は四千万円もよくなるのだそうです。そして、裁判はすぐには終らないとか、医療問題の場合、はましてやうだ、といわれて

編纂部に手紙が届きました。簡単な文面ですが、ご紹介いたします。

士から最後の話し合いをもちたいとのこと、十八日、東京都新宿区の石川ビルにある社会党の弁護士角尾先生のところへ行って来ました。

大場みき子さんのお住まいは、「山形県最上郡真室川町大字新町二〇一三」です。はげましく合せてゆきましょう。くれぐれも、ご健康でお過ごしなう祈ります。

三井鉦山は 控訴を取り下げよ

新聞「いのち」が抗議の記事

上村裁判の判決直後、全面的に村判決控訴を取り下げよ」と次の敗訴した三井鉦山が福岡高裁に控訴したことは、事の真実を知る者すべてが怒りを燃やした。

三月一日、福岡地方裁判所民事十一分会(CO患者のための造成部の、上村裁判官)で、井野三郎裁判長は「坑内火災の原因は、は、責任を認めて判決に従うこと

弱者の生活破壊

生活防衛のため中央行動

去る六七日、東京で、反インフレ・生活防衛中央行動が展開された。

三池労組からは三川指導部十一分会の小川分会長ら三人が参加したが、全国から労災・職業病被災者、高年齢者や低所得者、それに農民などの代表が結集した。

こんどの行動に参加した人びとは、その足で労働・厚生・通産・農林の各省に対して代表を派遣、切実な要望を陳情した。

小川・十一分会分会長も陳情行動に参加し行動したが、そこで一体何を感じたか。次のような感想を語ってくれた。

「こんどの中央行動に参加して感じたことは多いが、特に心深くうたれたことが二つある。

一つは、現行労災法がいかに不備なものであるか、ということを感じた。だがそれより十年後の今では

福岡で県民怒りの集会 30日

この三十日、福岡市の舞鶴中学校講堂で、インフレ・不況に苦しむ県民怒りの集会が開催され、資本闘争ばかりでなく、当面している統一地方選挙もまた勝利するため、労働者を中心に全力でたたかうことを誓った。

集会には、県内から高年齢者、婦人組織代表、労災・職業病被災者、その家族、低所得者連合会代表、農民組合代表らが参加、会場から県庁前までデモを行い、市民にアピールした。

インフレ・不況という事態は、弱者にとつとどわきびしいものになっており、今では当事者がたたかわないことには生活の向上はありえないことを、つくづく思い知らされているだけに、参加者の表情は真剣だった。

ただ、集まった人びとが予想よりはるかに少い五百人前後だったことは、今後のためにも考えさせられるところが大きかった。

二つめは、年金制度のもつ矛盾についてである。

陳情の席で、長野県からやってきたという人で、十年前に中学の校長を退職したとことだった人が、その人はいつだった。

自分は、勤続三十年だった。さういらい、十年前の退職直後にはもう年金も食うにまらなかつた。だがそれより十年後の今では

地方選、今やたけなわ。わが市が町、住みよくなるのはあなた革新の一票です。

鉄鋼、造船、自動車資本、日経連の指揮で賃上げ一五%の大合唱。利益隠して欲はかかす。